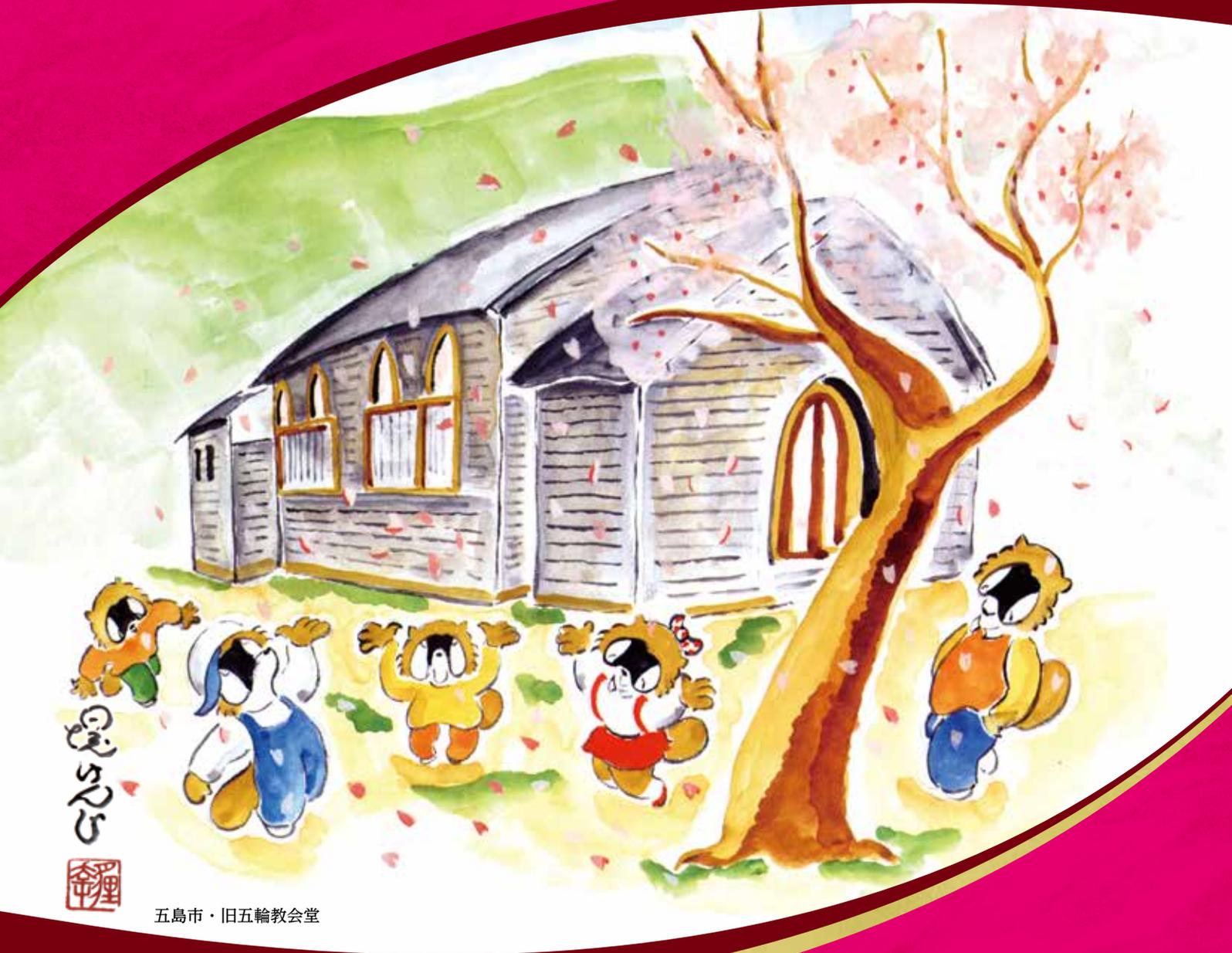


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **9**
2022.3



五島市・旧五輪教会堂

ガバナー 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
RLI 事前研修会の報告	6
会員数・出席報告	7
新会員紹介・物故者・3月の行事予定	8
寄付者紹介	9
ロータリーコーディネーター NEWS	10
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー **塚崎 寛**



3月のロータリーの特別月間は『水と衛生月間』です。

ロータリー財団委員長の岡村康司君にお話を伺いましたのでご紹介します。

2019年9月（千葉PG年度）、当時のロータリー財団委員長であった、大村RCの西川義文さんを中心に7名のロータリアンで水と衛生問題の解決に向けてネパールを訪問した。

当時ネパールに居た元グローバル補助金奨学生の片岡一生さんもご一緒された。

ネパールはアジア最貧国の一つで衛生面の問題も多くあった。

【以下、ロータリーの友投稿より抜粋】 地区補助金を活用して

ネパールでは2015年4月25日、マグニチュード7.8を記録する大地震が発生。

死者は8,964名にのぼった。大地震被災後、復旧が進みにくいネパールにおいて、水と衛生問題の解決のため、R財団・補助金事業の取り組みを進めている。

主な事業は手洗い場やトイレの設備工事であるが、工事の完成を前に9月21日と10月18日の2回に渡って、約1週間ずつ地区内の会員が渡航して、Dhading地区及びLalitpur地区における6つの学校を中心にワークショップを行った。

教員には水と衛生に関するテキストを作成・配布し、講義を行い、子供たちには爪切りや石鹸を使って手を清潔にしておく方法などを教えた。

今回は地区内の佐賀西RC、佐賀南RC、神崎RC、大村RCなどのクラブの枠を越えたメンバーで構成され、また現地ではPatan Durbar Square RCを中心に第3290地区のロータリアンと多数のローターアクトの皆様の協力の元に行われた。

この経験は実施側、支援側でも、地区内で広くロータリー活動を理解する契機になったように思う。この度の事業には在ネパール日本大使も現地のワークショップにお越し頂くなど、比較的大きな規模で効果的な教育事業ができたと思う。

以上、当地区に於ける水と衛生問題への取り組みの実例をご紹介しました。

Governor's message



重点分野の基本方針

水と衛生

ロータリーは、安全な水源の管理と保護を促し、安全な飲み水と衛生（衛生設備や衛生教育など）への普遍的かつ公平な利用を実現する活動を支援します。ロータリー財団は、環境的に健全で、測定可能かつ持続可能な介入を通じて、政府、諸機関、地域社会が水と衛生の分野における事業を管理できるようエンパワメントを図ることに力を入れています。

この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、地域社会が水と衛生への持続可能なアクセスを確保できるようにするための、ロータリアンによる以下のような活動を支援します。

1. 安全で手頃な価格の飲み水をすべての人が公平に利用できるように促進
2. 地上および地下の水源の保護と維持、汚染および汚染物質の削減、廃水再利用の推進による水質の改善。
3. 衛生的な方法で排便が処理される地域社会を達成することを目的とする、改善された衛生と水管理の公共サービスのすべての人による公平な利用の促進。
4. 疾病の蔓延を防ぐ、地域社会の人びとの衛生に関する知識、行動様式、習慣の改善。
5. 持続可能な水・衛生サービスの開発、財務、管理、維持ができるようにするための、政府、諸機関、地域社会の能力強化。
6. 水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

受領資格の判断基準

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「水と衛生」の範囲内にある活動とみなします。

1. 水供給、貯水、浄水、水処理、および水源保護に焦点を置いたプロジェクトを含む、安全な飲み水へのアクセス確保。
2. 改善された衛生設備へのアクセス確保。これは、衛生設備を通じた人の糞尿の処理、処分、および糞便堆積物の管理、処理、処分として定義される。
3. 手洗い、排せつ物の安全処理、安全な水の貯蔵、月経時の適切な衛生など、健全な習慣を推進する衛生教育の提供。このようなプログラムでは、好ましい習慣を妨げる要因や促進する要因を特定し、課題に取り組むための方法を説明する必要がある。

4. 固形廃棄物の管理システムの提供。これは、固形廃棄物質の回収、処理、処分として定義される。
5. 源水を守り、地上と地下の資源を補充するための流域管理方法の活用。
6. 作物、家畜、養魚のための水の供給。
7. 地域社会のガバナンス、ファイナンスとプランニング、システム管理、配給を含む、水と衛生サービスを支える持続可能な管理方法の開発。
8. 水と衛生への持続可能なアクセスを支援する方針の施行を国家や自治体当局に奨励するための戦略的アドボカシーの実施。これには、関連サービスへの資金配分、基準とガイドラインの作成、適切な方法での排便処理を行っている地域社会の認定が含まれる。

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「水と衛生」の範囲外にある活動とみなし、グローバル補助金の受領資格がないものとみなします。

1. 行動様式を変えることではなく、知識を向上させ、標準的な情報を提供することに焦点を置く衛生プログラム。一度限りの講習や授業は受領資格を満たさない。
2. 流域管理プロジェクトの一環ではない、単独の河川・沿岸の清掃活動。
3. 水と衛生システムを構築するだけのプロジェクト。

西海市に義援金を寄贈

2021年8月の集中豪雨に伴う被災に対して、全国34地区、84,000人のロータリアンから集まった義援金を、1月11日（火）西海市に道路等の復旧に400万円を災害見舞金として寄贈しました。

全国から義援金をお寄せくださったロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。

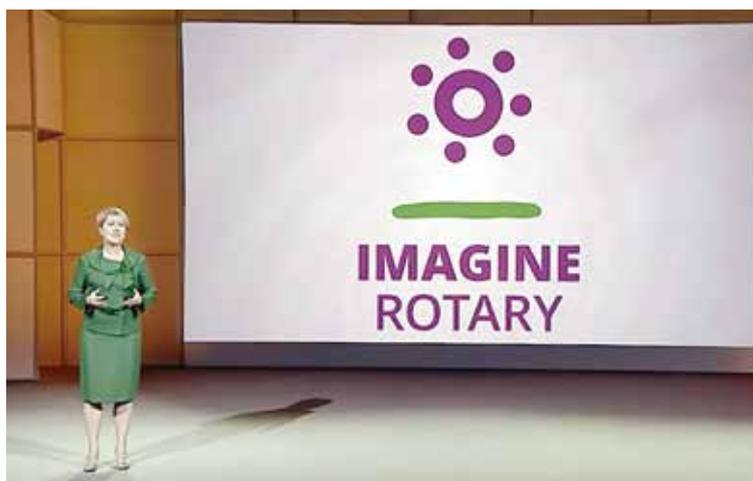


Governor's message

お知らせ

ジョーンズRI会長エレクトが2022-2023年度会長テーマを発表 大きな夢をかなえたロータリーを想像して

ウィンザー・ローズランド・RC (カナダ・オンタリオ州) 会員である、ジェニファー・E・ジョーンズRI会長エレクトは1月20日、次年度の地区ガバナーに向けた講演をオンライン配信し、2022-23年度会長テーマ「イマジン ロータリー」を発表された。氏は講演の中で、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力と繋がりを生かすよう呼びかけた。



「想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」
氏は国際ロータリー初の女性会長でもあります。



ジェニファー E. ジョーンズ

2021-22年度会長エレクト
Windsor-Roselandロータリークラブ
カナダ、オンタリオ州

ウィンザーにあるMedia Street Productions Inc.の創業者兼社長。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medalを受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学Pecemaker of the Year Awardを受賞しました。また法学の博士号(LLD.)を有しています。

女性初の会長に選出されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平性、公平さ、インクルージョン」を最優先し、女性会員や40歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも2桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」

ジョーンズ氏は1997年にロータリーに入会し、RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために1億5000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020年には、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的としたテレソン（#ロータリーによる対応）を先導。このイベントは65,000人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・克蘭フ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。

RLI 事前研修会の報告

R L I 推進委員会 委員長 **吉岡 義治**
(佐賀南RC)

参加して頂きました 塚崎寛ガバナー・中村靖治R L I D L 委員長・次年度ガバナー事務局・ガバナー補佐エレクト・会長幹事エレクトの皆様には厚く御礼申し上げます。
総勢74名によるWeb研修となりました。

今回の事前研修会の目的は、本年度スタートするR L I 研修を、いかにわかりやすく、次年度の地区・クラブのリーダーの方々にお伝えし、そしてご理解していただきたいというものでした。

開催するにあたり、R L I 推進委員会・DLで研修方法を模索しました。

それで、皆様共感を覚えやすい「会員増強」をテーマに、40分間のDLによる実際のR L I 研修のデモンストレーションを見ていただきました。

皆様のいろんなご意見・ご感想があると思いますが、その内容はロータリアンであるご自身を再認識なさるものではないかと察します。

「みんなで決定の過程を共有しよう」 一人一人が、クラブ運営に携わっているという認識のもと、取り組んでいく手法です。

R L I (ロータリーリーダーシップ研究会) 研修とは、ロータリアンの知識を啓発しモチベーションを高め、リーダーシップを養成するためのプログラムです。

研修方法は、決められたテーマについて、みんなで意見を自由に出し合って討議する形式(ファシリテーション)を用います。

3パート構成で合計3日間、1日1パートを6つのテーマでそれぞれ1時間ずつ討議をします。

この事前研修会の録画は、地区のホームページにも掲載されます。

例会・クラブフォーラム等に利用して頂ければ幸いです。

また3月下旬より、第1回目のR L I 研修がスタートします。

受講対象を、各クラブのR L I に携わる方、R L I に関心を持たれる方、入会3年未満の方々と考えております。

ご参加のほど、宜しくお願い致します。



2021年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	74.1	71	6	77	7	0	1	-1	6
	小城	4	57.4	28	4	29	4	0	0	0	1
	牛津	4	85.1	32	0	31	0	0	1	-1	-1
	多久	4	78.2	40	4	37	5	0	1	-1	-1
	佐賀大和	3	63.2	26	5	26	5	0	0	0	0
	小計		71.6	197	19	200	21	0	3	-3	5
第2グループ	佐賀西	3	72.0	36	3	41	3	1	0	1	5
	佐賀北	4	73.4	44	2	45	3	0	0	0	1
	佐賀南	4	74.4	38	3	37	3	0	0	0	-1
	神埼	3	74.7	37	4	38	4	0	0	0	2
	佐賀空港	2	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0
小計		72.2	173	13	179	14	1	0	1	7	
第3グループ	有田	3	75.9	30	2	29	2	0	1	-1	-1
	武雄	3	84.5	43	2	43	2	0	0	0	0
	鹿島	3	81.1	31	3	30	3	0	0	0	-1
	嬉野	4	86.0	25	1	25	1	0	0	0	0
	大町	4	64.3	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	91.7	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		80.6	152	8	150	8	0	1	-1	-2	
第4グループ	唐津	3	93.5	60	0	62	0	0	1	-1	2
	伊万里	4	83.9	30	0	31	0	0	0	0	4
	唐津東	4	77.3	51	0	52	0	0	0	0	1
	唐津西	4	85.6	30	0	31	0	0	1	-1	1
	伊万里西	3	97.9	38	1	39	1	0	0	0	1
	唐津中央	4	84.9	37	5	37	5	1	1	0	0
	小計		87.2	246	6	252	6	1	3	-2	9
第5グループ	佐世保	3	81.3	74	0	75	0	0	1	-1	1
	平戸	4	82.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	3	90.5	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	3	70.2	19	2	19	2	0	0	0	0
	松浦	4	84.3	24	1	27	1	0	0	0	3
小計		81.7	165	5	169	5	0	1	-1	4	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2021年7月1日から2021年12月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	56	0	56	0	0	0	0	0	
	佐世保東	4	71.8	24	0	24	0	0	0	0	0	
	佐世保北	3	100.0	40	2	39	2	0	0	0	2	
	佐世保中央	4	87.9	46	1	46	1	0	0	0	0	
	佐世保東南	3	61.0	35	0	34	0	0	1	-1	-1	
	HTB佐世保	3	84.4	22	2	23	3	0	0	0	1	
	小計		84.2	223	5	222	6	0	1	-1	2	
	大村	3	88.2	42	3	41	3	0	0	0	-1	
第7グループ	島原	4	83.9	28	2	29	2	0	0	0	1	
	雲仙	1	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0	
	大村北	4	88.7	23	1	26	1	0	0	0	3	
	島原南	4	51.7	15	1	15	1	0	0	0	0	
	大村東	4	86.3	34	4	34	4	0	0	0	0	
	小計		83.1	147	11	150	11	0	0	0	3	
第8グループ	諫早	4	79.3	72	0	73	0	1	0	1	1	
	諫早北	4	77.2	77	4	78	4	0	0	0	0	
	諫早西	4	99.5	45	0	47	0	1	0	1	2	
	諫早多良見	4	88.9	32	0	28	0	0	1	-1	-4	
	諫早南	2	65.6	16	8	16	8	0	0	0	0	
	小計		82.1	242	12	242	12	2	1	1	0	
第9グループ	長崎	4	87.7	65	0	66	0	0	0	0	1	
	福江	4	73.5	33	0	33	0	0	0	0	0	
	長崎北東	4	77.8	39	2	38	2	0	0	0	-1	
	福江中央	3	100.0	14	0	14	0	0	0	0	0	
	長崎西	3	74.1	36	1	37	1	0	0	0	1	
	長崎琴海	3	73.7	7	0	7	0	0	0	0	0	
	小計		81.1	194	3	195	3	0	0	0	1	
第10グループ	長崎北	3	78.0	72	0	77	0	0	1	-1	5	
	長崎南	4	82.9	68	0	70	0	0	1	-1	2	
	長崎東	4	78.3	40	1	40	1	0	0	0	0	
	長崎みなと	3	81.5	29	1	28	1	0	0	0	-1	
	長崎中央	4	90.9	49	0	49	0	0	1	-1	0	
	長崎出島	4	78.8	69	11	72	10	0	1	-1	3	
小計		81.8	327	13	336	12	0	4	-4	9		
56クラブ合計				80.8	2,066	95	2,095	98	4	14	-10	38



新会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。
※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます。



佐賀西RC

末原 重昭君
(株)大洋建設
専務取締役



唐津中央RC

井口 英三君
(有)トリーズ
代表取締役



諫早RC

北島 知夫君
きたじまクリニック
院長



諫早西RC

佐藤 雅樹君
Osteria Essenza
(オステリア エッセンツァ)
代表



物故者

唐津RC

宮崎 邦夫君
(享年86歳)



長崎中央RC

中島 熊雄君
(享年90歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3月行事予定

2022年2月15日現在

日 程	行事予定	場 所
3月 (水と衛生月間)		
5日 (土)	第3グループ IM	中止
	第4グループ IM	中止
	米山記念奨学生 修了式	L & L ホテルセンリュウ
12日 (土)	第39回 RAC 年次大会	Zoom
13日 (日)	会長エレクト研修セミナー	Zoom
20日 (日)	RLI 研修会 Part1	Zoom
26日 (土) ~ 27日 (日)	第34回全国 RAC 研修会	Zoom
27日 (日)	青少年交換オリエンテーション	諫早文化会館

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	木 下 一 功	大村
	森 本 大 輔	大村
	竹 房 政 美	大村
	中 島 悟	大村
	久 松 清 彦	大村
	千 葉 ま さ こ	諫早南
	丸 木 覚 誠	長崎北東
ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー	井 上 正 人	佐世保西
	酒 井 英 士	佐世保西
	烏 山 雅 之	大村
	笠 井 眞 利 子	大村
メモリアルコントリビューター	比 良 孝 蔵	大村北

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	馬 場 正 人	唐津西
米山功労者マルチプル	西 村 明 美	神埼
	中 山 虎 雄	唐津中央
	永 松 眞 利 子	唐津中央
	千 葉 憲 哉	諫早北
	江 上 徹 也	長崎西
	牧 文 春	長崎西
	許 斐 義 彦	長崎西
米山功労者	吉 田 良 尚	長崎西

ポリオ・ワンコインBOX 報告	今月分BOX 金額	累計金額
	201,902	1,878,451

国際大会に、参加しましょう！

2022年
6月4日～8日

テキサス州
ヒューストンにて

テキサス州ヒューストンで開催される
2022年ロータリー国際大会にぜひお越しください

登録は、国際ロータリーのMyRotaryより
オンラインシステムでお申し込みください!!



重要な
期日

2022年 3月31日：事前登録による割引の最終日

2022年 6月 8日：オンライン登録の最終日





「Think-global Act-local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画 / 2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに関わらず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化(即ち会員増強)」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上」のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。

然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもあると思いますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。

そんな折に、「環境」が7つ目の重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区の奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区の参考にでもして頂ければ幸甚と思ひ紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会は福岡市内研修会場」と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画 2022年度

1. 「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」
担当委員会は 会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。
2. 「オープン例会Week」の開催
会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。オープン例会の出席対象者は、1.会員候補者 2.会員事業所の社員 3.会員家族 4.マスコミ関係 5.等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。
3. 「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。
映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・2700地区の環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する。
4. 「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。
5. 「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。
6. 「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることを ロータリー財団委員会は周知を図る。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫 (宗像RC)

第3地域戦略計画セミナーについて

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期 (7月第一週か第二週の土曜日) に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながる事のお手伝い出来るように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉 (大阪東RC)

子どものころのわが町 長崎



昭和36年当時 東山手町の風景です。

海星学園からオランダ坂へ向かって下りてゆく坂道です。

正面には活水女子大学や13番館、左下には梅香崎中学校の校舎も見えます。

現在は乗用車が離合できる広さの道路ですが当時は狭かったようです。

日傘の女性の左側は現在昭和会病院が建っています。

写真集「長崎おもいで散歩2」(真木雄司氏撮影)より

編集後記

雪の降らない土地で開催された北京2022オリンピックも終わり、今月からは北京2022パラリンピックが開催されます。オリンピックでは選手らの活躍に感銘を受けつつも、ドーピング問題や判定問題などが影を落としていたことが残念でなりません。コロナウイルスもデルタ株から感染力が大きいオミクロン株に代わり、感染者が急増しました。まん延防止等重点措置が長崎県にも適用され、影響を受けられた方も多と思います。治療薬の開発、承認が進み、早く普通の風邪程度の取り扱いになることを願うばかりです。

第2740地区ガバナー事務所

〒852-8003

長崎県長崎市旭町13-5 タワーシティ長崎ウエストコート201号

TEL : 095-895-5330 FAX : 095-894-5431

E-mail : ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL : <https://rotary2740.jp/>